



第3回「ロータリーの友」地区だより（9月号）

朝夕めっきり涼しくなり、秋の訪れを感じさせる今日この頃です。

9月は「新世代のための月間」です。「人づくり」はいつの世もどの世界でも常に最大の課題です。青少年のためのプログラムを推進し、明日を担う新世代の若者を応援しましょう。

是非お目通し頂きたい記事

☆ 横組

- RI会長メッセージ 1頁
「若いころの経験というものは大人になってから得る以上に人格を形成する上でのより強い力、性格に影響を与える大きな力を持っている」として青少年プログラムの重要性を説いています。
- 子どもたちの笑顔のために 5～12頁
青少年プログラムを具体的に例示して各クラブの活動を紹介しています。
- 考えました、楽しみました。 バーミンガム国際大会 13～21頁
“開発で戦争・テロは防げるか” 朝ニュースキャスター・コメンテーター 田岡俊次氏 14～17頁
過去の戦争・反乱・テロを分析し、開発の成果を考え、グローバル化した資本主義社会の「国境なき経済」の中での国際ロータリーのあり方を示唆しています。国際大会の世界平和シンポジウムでのスピーチの全文です。
- ミア・ファロー ユニセフ親善大使・女優 22～25頁
ユニセフ大使のミア・ファローがスーダン西部のダルフルで起きている悲惨な現実について述べています。そして「人類の仲間として関心があるなら、顔を背けたりするのでなく、しなければならぬことがあります」と述べています。
- ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識 26・27頁
- ようこそ！ モントリオールへ 30・31頁
2010年国際大会が開催されるモントリオールを多くの写真と軽快な文章で紹介しています。
- 家族に知らせたいROTARY 32頁
アメリカで生まれ日本で育った日本のロータリーがいかにして発展して来たか、新しい時代に合ったロータリーはいかにあるべきか考えさせられます。
- エバンストン便り 35～37頁
RIに寄せられるいろいろな情報を伝えています。イランでスパイ容疑で拘束され、先日釈放されたアメリカ人ジャーナリスト、ロクサナ・サベリさんは元ロータリー財団国際親善奨学生であった事を知りました。
今後のRI国際大会の予定も記されています。

☆ 縦組

- 自然と人－戦後文明の中で何を失ったか 2～6 頁
今年4月26日 第2640地区 地区大会における記念講演第一部「自然と人」
関西医療大学名誉学長、八瀬善郎先生の講演要旨が掲載されています。横井庄一さんの強靱な精神力・たくましい生命力に感嘆し自然の摂理に反する科学技術・科学文明への警鐘を述べておられます。地区大会を思い出しながら御一読下さい。
- 手に手 くらぶ探訪 和歌山西ロータリークラブ 7～11 頁
わが2640地区の記事が続いて掲載されました。“古参会員の体験談に感嘆”として21名の和歌山西ロータリークラブの活動ぶりを取り上げています。多くの写真を使ったクラブ紹介、和歌山紹介があり、楽しい記事になっています。
- 俳壇 15 頁
「同窓会 夜は差し入れの柏餅」 和歌山北 岩内美登理
「内子座の庇に燕飛び入れり」 大阪・堺南 山口 恵子
- 歌壇 15 頁
「プランターに並べて蒔きし朝顔の去年の種見事に初咲き三輪」
大阪・堺東 竹山 時和
- 柳壇 14・15 頁
「お互いに葉の数を数えあい」 大阪・泉佐野 赤井 聡宏
「古塔見て有情無情の遍路ゆく」 大阪・堺 尾崎 一才
「ノラ猫の箱の住み家にカイロ入れ」 大阪・堺 畑 志籠
- 言いたい、聞きたい 16 頁
出席者に配慮し、さらに会議の短縮を 橋本紀ノ川 大沼 郁夫
南北に長い2640地区では片道2時間以上を要する場所での会議も多く悩みの種ですが、各委員会には御配慮頂いている処です。
- ロータリーアットワーク ROTARY AT WORK 写真編 21～24 頁
食卓こそ食育の宝庫 羽衣RC 23 頁
- ロータリーアットワーク ROTARY AT WORK 文章編 25～30 頁
垣根を越えて四RC合同社会奉仕活動 御坊RC 28 頁

「ロータリーの友」地区委員 廣本喜亮 (田辺RC)

E-mail : hiromoto1026@ybb.ne.jp

TEL : 0739-22-0571 FAX : 0739-26-7307